

図書館活用術

Niigata University Library

大学

特集1

図書館へいらっしゃい

図書館を使っていますか？
 図書館は、勉強や研究にはもちろんのこと
 趣味や楽しみのための読書や視聴にもお役に立ちたいと思っています。
 みなさんのための施設なのに使わなかったらもったいない。
 毎日いらしている方も、まだいらしたことがない方も、図書館へいらっしゃ〜い!

施設案内

2F

■雑誌コーナー

雑誌コーナーでは、ソファにゆったりと座って読むことができます。



■視聴覚コーナー

入口のすぐ左は視聴覚コーナーです。映画やドキュメンタリーなどのDVD、ビデオ、CD、カセットがあります。ここのブースで楽しんでください。



入口

3F

■学習図書

3階は学習図書が中心ですが、芥川賞や直木賞の受賞作品も集めています。約15万冊の図書があります。



■マルチメディアコーナー

マルチメディアコーナーには、学生用パソコンが65台あります。開館時間中ずっと利用できます。



1F

■書庫

1階書庫には、約34万冊の図書と雑誌のバックナンバーがあります。思いがけない資料が見つかるかも。

1階書庫の利用時間は、平日8:30~17:00です。カウンターで入庫の手続きをしてください。この時間に来られない社会人学生の方には、1階資料の取り置きをしています。



え! 夜10時まで利用できるの!

開館時間

授業のある期間は、午後10時まで開いていますので、5時限の授業が終わった後でも、夜間主コースの7時限授業が終わった後でも、間に合います。

通常期間		開館短縮期間	
月~金曜日	土曜日・日曜日・祝日	●8/11~9/30 ●12/24~1/6 ●2/20~3/31	月~金曜日 土曜日・日曜日・祝日
8:30~22:00	10:00~17:00	8:30~17:00	休館

学習・研究へのお助けマン!!

図書館では、学習や研究に役立てていただくために、図書館の利用法や文献情報の探し方などのガイダンスを行っています。

1 スタディ・スキルズ関係の授業への参加

【時期】4月中旬~5月下旬

【内容】主に1年生を対象に、図書館の利用手続きと図書の探し方を中心に説明と実習を行い、必要に応じて図書館1階書庫のツアーを行います。

2 図書館ガイダンス

【時期】春季：5月下旬~7月中旬 秋季：10月上旬~12月上旬

【内容】主に学部3年生以上および大学院生を対象に、卒業(修士)論文のテーマに関する文献情報の検索・入手ができるように、各種データベースを使って説明と実習を行います。

レファレンスカウンターの活用を!

ガイダンス等の他にも、日常的にわからないことや文献の探し方など、お困りのことがあったらいつでも、レファレンスカウンターにおいでください。

使ってみては — リーダープリンター —

図書や雑誌・新聞など紙の資料は、劣化しやすく、収蔵スペースも多く必要です。そのため、保存の手段としてマイクロフィルム化が行われています。中央館では、上杉文書、法令全書、新潟日報など約200点のマイクロフィルム資料を所蔵しています。

中央図書館で最もよく利用されている「新潟日報」マイクロフィルム版は、新聞発行の約2か月後から利用できます。新聞よりも手軽に利用できますので、こちらを利用されるのも良いと思います。新潟日報マイクロフィルム版の所蔵年は、1942年~1965年、1978年~2007年です。1966年~1978年は縮刷版を所蔵しています。

リーダープリンター 利用時間等

- 利用時間：開館時間中
- 印刷できる時間：平日 9:00~11:45 13:00~16:30
- 印刷費用(私費の場合)：学内者/1枚30円 学外者/1枚60円



特集1

大学図書館活用術

電子ジャーナル — 学術雑誌をインターネットで提供 —

電子ジャーナルとは、「オンラインジャーナル」「EJ」とも呼ばれる「インターネット上で提供される学術雑誌」のことです。新潟大学で利用できる電子ジャーナルは、下記のとおりですが、この他にフリーアクセス（無料）のものもあります。本学は、国立大学法人の中ではトップクラスのタイトル数を購読しています。

■ 出版社系

サービス名	分野	説 明
ACM Portal	情報処理	Association for Computing Machineryの電子ジャーナルサービス。
ACS Web Edition	化学	American Chemical Societyが出版する主要雑誌33誌。1996年から最新号まで利用可能。
AIP Journals	物理学	[Journal of Applied Physics] [Applied Physics Letters]の2誌。2002年から最新号まで利用可能。
APS Journals	物理学	Physical Review各誌など8誌。初号からのバックナンバーも Physical Review Online Archives (PRORA) で利用可能。
Blackwell Synergy	人文・自然科学	Blackwell社が出版する雑誌約800誌。1997年から最新号まで利用可能。
Cambridge Journals Online (CJO)	全分野	Cambridge University Press出版の約200誌。提供されている全てのバックファイルが利用可能。
Cell Press Online	生物学	[Cell]、[Current Biology]、[Molecular Cell]、[Neuron]、[Immunity]の5誌。ScienceDirectを通して提供されており、フルテキストは1995年以降最新号まで利用可能。
Chemical Communications	化学	Royal Society of Chemistryが発行している化学分野の重要誌。1997年以降最新号まで利用可能。
IEEE Computer Society Digital Library	情報処理	IEEE Computing Societyが提供する雑誌23誌（バックファイルは初号まで遡って収録予定）。Proceedings (1,700タイトル以上、1995年以降)も利用可能。
Journal of Biological Chemistry	生化学	American Society for Biochemistry and Molecular Biology発行の生化学分野の専門誌。JBC Papers in Press (速報版)も提供。
Nature	自然科学	Nature本誌と [EMBO Journal] [EMBO Reports]の2誌。1997年から最新号まで利用可能。
Oxford Journals	全分野	Oxford University Press発行の166誌。1996年から最新号までのカレント分と、1995年以前のアーカイブコレクションが利用可能。
Science	自然科学	American Association for the Advancement of Science発行の総合科学誌。1997年から最新号まで利用可能。
ScienceDirect	全分野	Elsevier社の雑誌約1,800誌。フルテキストは一部を除き1995年から最新号まで利用可能。
SPIE Digital Library 【五十嵐地区限定】	光工学	[J. Biomedical Optics] [J. Electronic Imaging] [Journal of Micro/Nanolithography, MEMS and MOEMS] [Optical Engineering]の4誌が利用可能。
SpringerLink	全分野	Springer社出版の約1,200誌にアクセス可能。Online Journal Archive (初号～1996年発行号のバックファイル)
Unibio Press (BioOne)	生物学	[Current Herpetology] [Journal of Mammalian Ova Research] [Mammal Study] [Ornithological Science] [Paleontological Research] [Zoological Science]の6誌が利用可能。
Wiley InterScience	科学技術・医学	Wiley社出版の雑誌約500誌。1997年以降最新号まで利用可能。

■ アグリゲータ系

EBSCOhost	Academic Search Premier	人文社会系を中心に理工・医学系までを網羅する総合的な雑誌論文データベース
	Business Source Premier	経済・経営・ビジネス分野の雑誌論文を収録
ProQuest	ABI/INFORM-Complete	ビジネス・経済関連の学術雑誌・一般誌・業界誌・新聞等を収録
	Health and Medical Complete	主要な臨床及び医療の専門分野を網羅

電子ジャーナル(購読外国雑誌)の平成18年、1年間の利用状況は、ダウンロード数が40万件を超え、1論文当たり約350円と費用対効果の面からみて、効率の良い使われ方をしています。

なお、不正使用が認められた場合、違反した個人だけでなく、大学全体として電子ジャーナルの利用停止というペナルティが科せられることがありますので、右の注意事項を守ってご利用ください。

注意事項

- (1) 利用対象者(新潟大学に所属する教職員・学生等)以外の第三者に利用させること
- (2) 大量データを一括ダウンロードすること
- (3) ダウンロードしたデータを複製・配布すること
第三者にコピーを配る、あるいはメール添付等で送信すること
- (4) ダウンロードした論文を翻訳・翻案・改変して公表もしくは他人に渡すこと

新潟大学学術リポジトリ (Nuar) — 学術研究成果等を世界に向けて発信! —

リポジトリは、インターネット上で公開する電子書庫です。新潟大学で生みだされた学術研究成果等をサーバに登録・蓄積して、広く世界に無償で公開・発信します。(http://repository.lib.niigata-u.ac.jp)



近年、学術雑誌論文を掲載する学術専門誌やそれを電子化した電子ジャーナルの購読料が、出版社の寡占化が進むなどの影響で高騰しています。その結果、購読者が減り、購読料がさらに高くなるという悪循環を招いています。

そのため、高額な商業学術雑誌に対抗しようと、欧米を中心にオープンアクセス運動が始まり、日本でも機関(学術)リポジトリが推進され、本学でも新潟大学学術リポジトリ(Nuar)の運用を、今年の5月17日に開始しました。

Nuarに登録される論文等には、検索のための情報(メタデータ)が付与されていますので、Googleのような検索エンジンで検索されるだけでなく、国立情報学研究所のJuNii+やミシガン大学のOAISterなどの全国規模、世界規模のデータベースの検索対象となり、個人のWebページで公開するよりも効果的に情報が発信されます。



Niigata University Academic Repository

Nuar(ニューアー)は、新潟大学学術リポジトリの愛称で、ロゴマークは、朱鷺をイメージしています。



お宝紹介 — 知っていますか? —

中央図書館では、漢籍・国書・古文書等の資料も所蔵しています。これらは、特殊資料室に保存されているため、目に触れる機会が少ないのですが、手軽に利用していただくため、ホームページに「貴重資料データベース」として画像を公開しています。また、中央図書館2階の資料公開コーナーやあさひまち展示館において、1年に数回テーマを決め展示公開しています。今回は、佐野文庫と堀家文書について紹介します。

佐野文庫

佐野文庫は、国書・漢籍5,237点、古文書約2,800点からなり、国書部門の内容は、文学・儒学・史学・漢学など多岐にわたります。佐野喜平太氏(新潟県三島郡出雲崎町)が明治・大正年間に収集した蔵書で、昭和35(1960)年に孫である佐野泰蔵氏から寄贈されました。佐野家は、江戸時代に佐渡への渡海港・北前船の寄港地として栄えた出雲崎湊の廻船問屋・地主で、屋号を泊屋と称しました。古文書部門は、佐野家の商業活動を示す「諸国客船帳」等と、尼瀬町名主の野口家(京屋)の文書からなります。



「北越雪中之図」
北越奇談 橋崑崙(茂世)著 文化9(1812)年刊本 全6冊

写真は、佐野文庫の「北越奇談」の巻之一、冒頭に掲載されている「北越雪中之図」。北越のイメージを印象づける挿絵ですが、本文には雪に関する逸話はほとんどありません。「北越奇談」は越後の伝説・奇談・怪談を集めた読み物で、柳亭種彦校合、葛飾北斎補画という、当時、江戸で注目を浴びていた2人の名を連ねて出版されました。作者の橋崑崙は出版当時、三条に住んでいたといわれています。なお、葛飾北斎の挿絵は全部で15点描かれています。

堀家文書

堀家文書は、越後国長岡・村上藩家老堀主膳家の文書です。総数は148点で、そのうち村上藩主堀直寄からの書状など56点が新潟県文化財指定を受けています。昭和35(1960)年に人文学部が購入し、附属図書館に移管されました。

江戸詰め堀直寄から堀主膳にあてた書状が多く、近世初頭の村上藩政を知ることのできる史料です。「貴重資料データベース」から148点のすべてを閲覧することができます。



堀直寄書状
[元和7(1621)年]2月24日 折紙1通

写真は、江戸滞在中の藩主直寄から国元の家老堀主膳に宛てられた書状。尾張中納言屋敷火事や沼新金山(岩船郡関川村)の開発、堤普請のことなど細かく書かれています。

この文書は紙を2つ折りして用いたもので、折紙と呼ばれているものです。折紙は折ったまま文字が書かれるのですが、開くと写真のように後半部分は逆さになります。

見て・聞いて — 話題の映画など満載! —

2階視聴覚コーナーには、映画等のDVDやクラシック等の音楽CDが多く配架されています。(DVD 500タイトル、CD 600タイトル、ビデオテープ 2,000タイトル)

勉学の疲れを癒すために利用してはいかがでしょうか。

カウンターで手続きを行い、館内備付のブースで視聴してください。

- 主な作品
- DVD**
 - プロジェクトX
 - 冬のソナタ
 - 宮廷女官チャングムの誓い
 - 太陽がいっぱい
 - ウエスト・サイド物語
 - CD**
 - クラシック音楽
 - LONDON NEW BEST 100
 - 世界民族音楽大集成

「DVD:An inconvenient truth(不都合な真実)」

今、地球があぶない。地球温暖化問題
アル・ゴア元副大統領の話題作。

2007年度ノーベル平和賞受賞

アル・ゴア関連図書(中央図書館3階開架にあり)
■不都合な真実: 切迫する地球温暖化、そして私たちにできること
■不都合な真実: 地球温暖化の危機; Eco入門編



Copyright (C) Paramount Pictures.& (C) United International Pictures.

地震関係資料 収集と公開

平成16年10月23日の地震発生から3年目を迎えた「新潟県中越地震」、まだ、その爪痕が残っています。そのような中で、今年7月16日に「新潟県中越沖地震」が発生しました。

度重なる地震災害。報道資料や関係の資料・図書が発行されていますが、附属図書館は多くの方々の協力を得て、いち早く「新潟県中越地震関係資料」として収集し、公開しました。

「新潟日報」「朝日新聞」「毎日新聞」「読売新聞」「産経新聞」

「日本経済新聞」の平成16年10月24日から12月31日までの地震関連新聞記事、新潟大学で開催されたシンポジウムの報告書、被災地で発行された広報誌、ニュース、映像データなど、貴重な資料を収集し保存しています。

今年起こった「新潟県中越沖地震」の関係資料についても、なるべく多く収集し、公開していくことにしています。



【主な資料】

- 「新聞記事」(平成16年10月24日~12月31日) ●新潟日報 ほか各社
- 「新潟大学災害シンポジウム 新潟県連続災害の検証と復興への視点」第1回、2回
- 「ドキュメント新潟県中越地震: 10.27奇跡の救出」●Jレスキュー編集部
- 「新潟県中越地震の復旧奮闘記」●第一建設工業
- 「激震魚沼: 魚沼市 川口町」●越南タイムズ編
- 「帰ろう山古志へ: 旧山古志村民の体験」●よしたー山古志編
- 「かわぐち地震災害対策広報」第1号(2004年11月1日)~第31号(最終号2004年12月14日)
- 「新潟県中越地震: 特別報道写真集 2004・10・23」●新潟日報社
- 「巨大地震と高速鉄道: 新潟県中越地震をふりかえって」●山海堂
- 「小千谷を襲った大地震」●小千谷新聞社
- 「平成19年新潟県中越沖地震一特別報道写真集2007.7.16」●新潟日報社
- 「7・16中越沖地震 特別記録写真集 柏崎・刈羽を直撃した震度6強の大震災」●ベースボール・マガジン社

地震関係資料に関しては、中央図書館カウンターで尋ねるか図書館のホームページをご覧ください。

体験！医歯学図書館

1 行ってみよう

医歯学図書館は医歯学総合病院の隣にあります。病院の入退院口を通過して、赤茶のレンガ色の建物が見えたらそこが医歯学図書館です。図書館への入館や貸出等利用方法は中央図書館と同じです。

但し、利用申請をした研究者は図書館閉館後もカードにより入館できます。



図書館
正面玄関

国家試験
対策図書



人気図書

- 分担解剖学 (超人気のため5セット揃えました)
- ダイナミックメディスン (新潟大学医歯学系教員執筆)
- 標準シリーズ (各分野で最も利用されているもの)

2 読んでみよう

医歯学図書館は、生命科学関連分野の図書・雑誌を中心に収集しています。書架の分類も米国の「国立医学図書館分類表」を採用しており、中央図書館とは違う書架の雰囲気になれることでしょう。

1階は、保存用の古い図書・雑誌が電動集密書架に収納されています。

2階は、生命科学の基本図書が書架に並び、隣に閲覧室があります。国試コーナーには医学部・歯学部学生の国家試験受験に備え、最新の国家試験対策図書を揃えています。

マルチメディアホールには、学生用パソコン120台があります。PCを使った授業やCBTの際には利用が制限されますが、それ以外の時間はいつでも自由に使えます。

3階は比較的新しい雑誌が並んでいます。フロアにない外国雑誌でも、電子ジャーナルで見られるものもあります。



閲覧室
(個人用席)



グループ
学習室

3 使ってみよう

医歯学図書館は、個人用から4人用までの閲覧席が各階に配置してあり、自分のお気に入りの場所でゆったり落ち着いた時間を過ごすことができます。

グループ学習室は3人以上のグループで利用でき、勉強会などでよく利用されています。8人用と25人用の2部屋があります。1回3時間まで2週間前から予約できますので、カウンターに申し込んでください。

4 覗いてみよう

3階の特別閲覧室には3文庫が保管・展示されています。

- 森田文庫 / 新潟県加茂市出身の蘭医森田千庵氏の旧蔵書
 - 竹山文庫 / 新潟医学校初代校長竹山屯氏の旧蔵書
 - 藤田文庫 / 藤田名誉教授の父上である藤田恒太郎氏の旧蔵書
- 隣の特別資料室には、新潟医科大学時代からの全ての博士論文5,000点余が保存されています。



5 探してみよう — 日本語文献検索データベースと電子ジャーナル —

3頁で紹介している外国電子ジャーナルの他に、旭町地区限定で利用できる日本語のデータベースと国内の電子ジャーナルもあります。2階マルチメディアホールまたは研究室のPCからアクセスしてください。

医中誌Web

(国内で発行された医学雑誌の論文を検索するデータベース)



新潟大学が所蔵している雑誌です

クリックすると論文が読めます

メディカルオンライン

(国内で発行された医学雑誌の論文を画面上で閲覧)



図書館に行かなくても論文が読めます

ちょっと休憩



医歯学図書館検定

初級編

- ① 中央図書館と医歯学図書館の両方から図書が借りられますか?
- ② グループ学習室は彼と2人で使えますか?
- ③ 図書の並び方は、中央館と同じですか?
- ④ 「メディカルオンライン」はマルチメディアホールでも見られますか?
- ⑤ 旭町地区で日本語のデータベースの他に、外国の電子ジャーナルも見られますか?

正解 ①○ ②× ③× ④○ ⑤○

特集1

大学図書館活用術

特集1

大学図書館活用術

学部資料室一覧

人文学部	人文学部合同資料室		
	●場所：総合教育研究棟A棟3階 ●開室時間：10:15～16:45(但し、休業期間中は時間変更あり) ●連絡先電話：(025)262-6827		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
学生証を持参。図書、雑誌の当日貸出のみ可	利用時に一般利用者ノートに連絡先等記入。図書・雑誌の当日貸出のみ可	考古学、地域文化、日本史、日本語・日本文学、アジア文化、英米文化、ヨーロッパ文化、文化コミュニケーション関係の資料を所蔵	

法学部	法学部資料室		
	●場所：人文社会学系D棟2階243 ●開室時間：9:30～12:30 13:30～17:00 ●連絡先電話：(025)262-6488		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
なし	利用時に一般利用者ノートに連絡先等記入。図書・雑誌の当日貸出のみ可	主に法学・政治学関係の雑誌と図書を所蔵。主要法律雑誌の全文検索や法律判例文献情報、判例体系現行法規などのデータベースを検索できるパソコンがある。その他に法学検定、公務員試験などの資格試験の問題集、法学部の授業で指定されている教科書、参考書などあり	

経済学部	経済学部資料室		
	●場所：人文社会学系C棟4階 ●開室時間：9:00～11:50 12:50～17:00 ●連絡先電話：(025)262-6516		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
なし	当日貸出のみ	経済関係の図書・雑誌、統計資料・白書など所蔵	

理学部	理学部図書室		
	●場所：理学部A棟3階304(隣室の302は閲覧室) ●開室時間：9:00～17:00 ●連絡先電話：(025)262-6137(Fax同じ)		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
なし	なるべく事前連絡が望ましい。貸出の場合連絡先を記入	理学系の学生用図書・新着雑誌・参考図書がある。研究用図書・雑誌は別室にあり	

工学部	工学部図書分室		
	●場所：工学部1階(学生玄関入って左すぐ) ●開室時間：8:30～17:00 ●連絡先電話：(025)262-6713		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
学生証を持参。工学部セーフティカードで24時間入室可能(メインスタックのみ)	なるべく事前連絡が望ましい。身分証明になるものを持参	工学系の新着雑誌(バックナンバーもあり)、日本工業規格(JIS)、二次資料・科学技術文献速報(機械工学編)	

農学部	農学部図書分室		
	●場所：農学部C棟4階 ●開室時間：9:00～17:00 ●連絡先電話：(025)262-6607		
学内者利用条件	学外者の利用	特色	
学生証を持参。但し、農学部の4年生、院生、研究生は教員に配布してある「閲覧証」を持参	身分証明証を持参または、本学教職員の紹介状を持参。なるべく事前連絡が望ましい	農学系内国・外国雑誌および農学関係図書	

リンネ『植物の種』(Species Plantarum) 初版(1753年) v.1,2(農学部図書分室蔵)



利用者の声を図書館に!

学生図書の選定はどのようにしているの?

附属図書館の購入図書の多くは、主として各学部等の教員の選定による「学生用図書」によっています。各分野の基本的図書の新刊の収集等を図っていますが、それでも「授業で紹介された本なのに所蔵していない」「常に貸出中で読めない」といったことは発生すると思います。

学生の目録での要求をできるだけ反映させ、必要な時期にタイムリーに図書収集を図るために、「学生希望図書」として年間を通じてリクエストを受け付けています。自分が読んで有用だった本、他の人にも薦めたい本などを、カウンターまで申し込んでください。(下記参照)

図書館に買ってもらいたい図書があるときは?

「学生用図書リクエスト用紙」で受け付けています。用紙と箱は、2階カウンターわきと、3階入口にあります。

購入できない場合はそれが決まった時に、また、購入できた場合は図書が利用できるようになったときに、掲示板でお知らせします。(注文から1ヶ月前後で入ります。)

図書館に要望や意見を言いたい

「図書館への要望・意見」の用紙で受け付けています。用紙と記入した紙を入れる箱は、1階降りる階段のそばにあります。

図書館で検討し、回答は図書館入口の掲示板に貼り出します。

私の図書館活用法

論文作成のための図書館利用法について

大学院現代社会文化研究科博士前期課程
小森 暁生



論文を作成するにあたって必ず必要となるのが先行研究です。それは図書、雑誌、報告書、マイクロフィルムなど多岐に亘るものですが、新潟大学附属図書館には論文に利用できる資料がたくさん所蔵されています。論文作成者は手続きをすれば他の学生よりも多く本を借りることができるので、手続きをすることを勧めます。開架二階や三階にも図書が並べてありますが、論文作成時には一階の書庫を利用することが多いと思います。書庫へは受付で手続きすれば簡単に入ることができますが、他の階より利用時間が限られており、土日は入れないので注意しましょう。また自分の専門分野に関する棚周辺の図書も眺めておいた方がよいです。なぜなら書庫の図書もOPACで検索可能ですが、データが入っていない図書もあり、貴重な資料が隠れている場合があるためです(検索漏れということもあります)。さらに図書の場所を覚えておけば、次回書庫へ来るとき資料を探す時間が省けます。新潟大学附属図書館に所蔵がなく、他大学に所蔵されている資料は取り寄せたり、複写をとったりすることができます。取り寄せや複写は有料で、資料の全複写は著作権の問題上できませんが、パソコンで申し込めるので必要な時は利用してはいかがでしょうか。

私の大学院研究における図書館の利用法

大学院自然科学研究科博士後期課程3年
荒谷 洋輔



数理科学や情報科学関連の大学院での勉強は、英語で書かれた論文をセミナーで紹介を行うために内容を丁寧に読み進めることが中心的課題で、さらに発展して新しい知見を提案する自分の論文を書いたりするのが目標です。私が論文を本格的に読み始めたのは修士課程2年の初めあたりで、きっかけは私の先生の研究仲間が書いたドラフトでした。このドラフトの参考文献を探すために図書館を利用したのが始まりです。そこで見つけた論文は今の私の研究の核となっています。でもその当時、私はその論文の内容をほとんど理解できなかったため、その論文の参考文献をまた図書館で調べました。その作業を繰り返すうちにおぼろげながら内容がわかってきました。数学という特定のジャンルでも幾多の雑誌がある中、だいたいのがこの図書館で見つかったのは大変助かりました。

さらにMathSciNetという、ネットでの検索システムがあります。上記の調べた論文も今では概ね閲覧可能で、非常に便利なものです。ただし、まだ閲覧できない雑誌もあり、図書館に足を運んで実際に調べてみることも必要だと感じています。